

■循環器内科からのご案内

2016年6月より当院循環器内科に入職された常勤医師をご紹介します。
大きな病院での勤務経験を持つ診療顧問の入職に伴い、当院循環器内科はより一層充実した診療体制となり、さらなる未来へ向けて着実に前進してまいります。



循環器内科常勤・久保医師 就任のご挨拶

2016年6月に循環器内科へ赴任した久保一郎です。

昭和54年東京医科歯科大学を卒業以降、循環器内科一筋に臨床を行ってきました。現在は、主に冠動脈疾患、虚血性心疾患とともに、下肢閉塞性動脈硬化症(ASO)のカテーテルインターベンション(血管内治療)を行っております。前任地の上尾中央総合病院では、年間80～90例の下肢血管内治療を施行しておりました。

下肢閉塞性動脈硬化症は、循環器内科のみに限られた疾患ではなく、糖尿病、高脂血症、透析腎不全など、内科の多くの疾患分野に関わりのある“成人病”“メタボリックシンドローム”として、まだ多くの潜在する患者さまがいらっしゃるだろうと考えております。腸骨動脈領域の血管内治療は、安定した長期予後が確立されています。浅大腿動脈から膝窩動脈以遠でもCrosserをはじめ新たなデバイス、Stentも今後目白押しで文字通り日進月歩の領域です。

また、治療はインターベンションのみで、自己完結するものではありません。糖尿病内科、腎臓内科、血管外科、形成外科との集学的治療を必要といたします。今後、院内、透析センターはもちろん、行田周辺の多くの病院の諸先生方へのご協力をお願いしていきたいと考えております。

足が冷たい、歩くと痛くて休んでしまう、足指の色が悪い、足がむくむなど、下肢の症状でお困りの患者さまは、どうぞ遠慮なくご紹介いただければ幸いです。

ABI、SPPなど血管検査、CT、エコー、血管造影などの画像診断、血管内治療に精一杯努力させていただきたく考えております。どうぞよろしく願いたします。

久保一郎

ICHIRO KUBO

東京医科歯科大学 昭和54年卒

専門科目：循環器内科

専門医・認定医：日本内科学会総合内科専門医
日本循環器学会循環器専門医
日本心血管インターベンション治療学会名誉専門医
東京都医師会産業界

PROFILE

1979年 東京医科歯科大学第一内科
1980年 東京都立墨東病院
1983年 東京医科歯科大学第一内科循環器
1985年 東京都立墨東病院
2011年 高輪メディカルクリニック循環器内科
2012年 上尾中央総合病院循環器内科

■循環器内科 久保医師外来担当表

行田クリニックB館		月	火	水	木	金	土
午前	診察室2	○	○		当日・紹介のみ	○	第2・4週のみ